「しんがた コロナウイルス」の ワクチンに ついて：低学年用（ていがくねんよう）

【コロナウイルスに かかると どうなるの】

「かぜ」に かかります。「おなか」の ちょうしが わるく なったり、「あじ」や「におい」が かんじにくく なることも あります。

せきが でて ぐあいが わるくなる ひとも います。

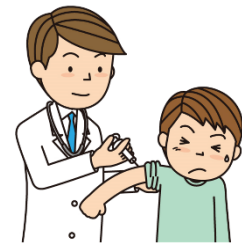
【ワクチンは なにが いいの】

「ファイザーの ワクチン」を うちます。

ワクチンを うつことで、コロナウイルスに 「ていこう する ちから」が つよく なります。でも、ワクチンで ぐあいが わるく なることや、ワクチンを うつことが できない ひとも いるので、おとなと「そうだん」して きめます。

【どうやって うつの？】

「うで」の つけねに おちゅうしゃを します。

1 かいめ から 3 しゅうかん たったら、2 かいめを します。

【ワクチンのときに きをつけること】

- ちゅうしゃの 「いたみ」で ぐあいの わるくなる ひとが います。
- ゆっくり 「いきをして」 きもちが おちついてから おちゅうしゃを しましょう。
- おちゅうしゃの あとは、15～30 ぷんは しずかに やすんで ください。
- **ちょうしが おかしい、むねが いたい・くるしい、いきが できない、ふらふらする ときは、ちかくの おとなに すぐ おしえましょう。**

いわていかだいがくふぞくびょういん しょうにか わくちんかかり
いわてけんいしかい
いわてけん